

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集：現場の先生方を支える日本語指導教員研修



12月9日、足立区との教育連携に基づく「明海大学連携事業『小学校教員向け外国人等児童の日本語指導研修会』」が、「足立区梅田地域学習センター」で開催され、区内の小学校から3人の先生方と、「あだち日本語学習ルーム」から2人のスタッフの参加がありました。講師は、外国語学部日本語学科主任・木山三佳教授が務めました。昨年度から全4回のシリーズを年2回ずつに分けて実施し、今回は最終回の第4回目となりました。第3回に続き対面で開催することができました。

テーマは、「日本語母語児童と協働する多文化の教室」とし、異文化コミュニケーションの難しさ、非言語コミュニケーションの種類と非言語コミュニケーションを成功させるヒント、文化による価値観の違い、多文化の教室をより良い教室にするための方策などについて、さまざまな学説と豊富な具体例を基に解説しました。参加者からは、「4回シリーズの全部に参加した。今まで学級担任をする中で経験として理解していたことが、この研修で一層理解が深まった」「外国人の児童に加えて保護者との対応の留意点がよく分かった」などの感想がありました。



飛鳥高校での日本語指導研修会

12月6日、教育連携協定に基づき、東京都立飛鳥高等学校の日本語指導研修会において、本学外国語学部日本語学科の田川麻央講師が指導を行いました。当日は、20人の先生方を対象に「外国につながる学生と大学における日本語指導」をテーマとして、外国にルーツのある大学生に対する各授業での支援方法や単位取得のための支援方法について、本学での取組を紹介しました。また、飛鳥高校で行っている日本語学習支援の状況や本学の学生の成長についての情報提供を行いました。



講義の後、参加した先生方からは「生徒のモチベーションを高め、授業以外でも自発的に日本語を学習するような仕掛けをすることが必要であり、検定取得やそれに向けた対策講座等を授業外でやっていくこともその一つであることが分かった」などの感想がありました。

前号（第7号）で取り上げた東京都立南葛飾高校での日本語指導研修会を既に今年度実施しており、来年2月には東京都立田柄高校での日本語指導研修会も予定しております。今後も、METTSでは日本語学科と協働しながら現場の教員のニーズに応じた支援を企画して提供していきます。

本学留学生による足立区中学生との異文化交流会 大成功！

12月19日、本学と足立区の教育連携協定事業の一環として、本学の留学生7人が足立区立第五中学校の2年生100人と英語による異文化交流学習会を開催しました。今年度4回目となる当事業は、アメリカ、中国、ドイツ、ドミニカ共和国、フィリピンの計5か国の本学留学生が参加し、教職課程センター・地域学校教育センターの金子義隆教授が企画・運営をしました。



留学生7人は、2時間目から4時間目の英語の授業に参加し、始めに、留学生が一人ずつ中学生のグループに加わり持参してきた写真を使って自分と自国の紹介（例：アメリカの食文化や行事、フィリピンの有名なレストラン）をした後、中学生も自分たちで予め用意していた日本等の紹介（例：和菓子やお気に入りのアニメ）をし、英語でのコミュニケーションを楽しむことができました。

参加した中学生からは「英語が苦手ですけど今回は、楽しく話せることができました。自分の力で話すのが苦手なんですけど今回の事を通して少し英語の会話が『楽しい』とか『また話してみたいな』と思えました。英語の会話がとても大切なんだと感じました」や「世界には、色々な文化があるんだと思った。留学生が話をふってくれたから緊張せずに楽しくできた」などと答えてくれました。

12月14日にも足立区立扇中学校で異文化交流学習会を実施しました。本学の留学生8人が参加し、8年生（中学2年生）約60人と9年生（中学3年生）約70人と英語でのコミュニケーションを楽しみました。

教職課程センターFD研修会

12月5日（月）、教職課程センターが主催する今年度第1回目のFD研修会を開催しました。教職課程センター運営委員の教員7人に加え、教員対象の研修会ですが教職課程を履修している学生にも有意義な内容のため教職課程の4年生にも参加の機会を与えた結果、学生31人が参加しました。



講師は東京都立国際高等学校指導教諭で国際バカロレア・ディプロマ・プログラムコーディネーターでもある青木一真先生で、

「国際バカロレア教育の理念と手法の活用」と題して、ディプロマ・プログラムや中等教育における実態について講義していただきました。学生からは、「色々な角度から課題について見ていくということの大事さ考える力が身についていくという発見があった」などの声が聞かれました。

4人の教職課程履修生、都立高校校内寺子屋講師で大活躍！

本学と高大連携協定を結んでいる東京都立葛西南高等学校に学生が訪問し、今年で7年目になります。学生は、高校生の英語の基礎学力を向上させる放課後の講習「校内寺子屋」の講師を務めており、今年度は英米語学科4年の鈴木歩さん、橋本ありささん、2年の池内夏美さん、高木由紀さんが担当しています。講師の学生は、「生徒の一人ひとり異なる理解度に合わせて教えられるようになりたい」「生徒が分かった、と言ってくれることが一番の励みになる」などの抱負や感想を述べています。



アゴラ活用状況（人）

11月	1,132
2018年からの延べ数	57,510